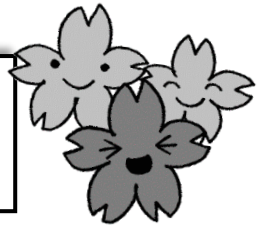


内科健診について

4/17 (月) 2・3年

4/24 (月) 1年



内科健診、なんで上半身裸にならないといけないの？

かかりつけの病院は脱がなくても診てくれるよ！



上の二人のように思っている人も多いのではないのでしょうか？

「せめてシャツを着たままでできないの？」…などという意見も聞きます。男女別で健診を行っているとはいえ、上半身裸で健診を受けることに気が進まないのは確かだと思います。

ではなぜわざわざ上半身裸で健診を行わないといけないのでしょうか。

それは「脊柱側弯症」という病気を見つけるためです。

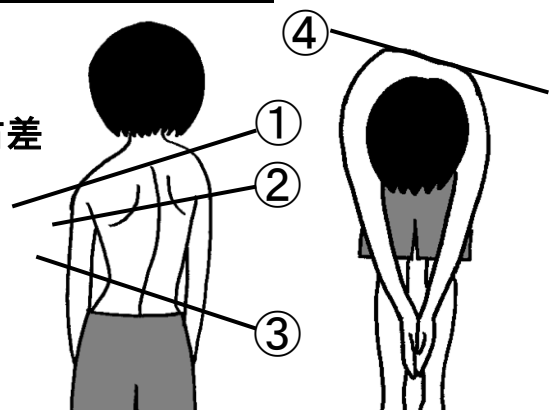
「**脊柱側弯症**」とは背骨が左右に曲がる病気で、思春期の特に女子に発症する「**思春期特発性側弯症**」が最も多く、女子全体の2%が該当すると言われおり、決して少ない病気ではないのです。また思春期に病気が進行しやすいこともわかっており、早期発見が大切です。

そのため平成 28 年から学校の内科健診で側弯症のチェックも義務化され、保護者と医師の2つの目を通し見落としを防ぐようにしています。



★脊柱側弯症のチェック方法★

- ①肩の高さの左右差
- ②肩甲骨の高さや突き出し方の左右差
- ③脇の線のカーブの左右差
- ④前屈での肋骨隆起の確認
(背中の高さの左右差)

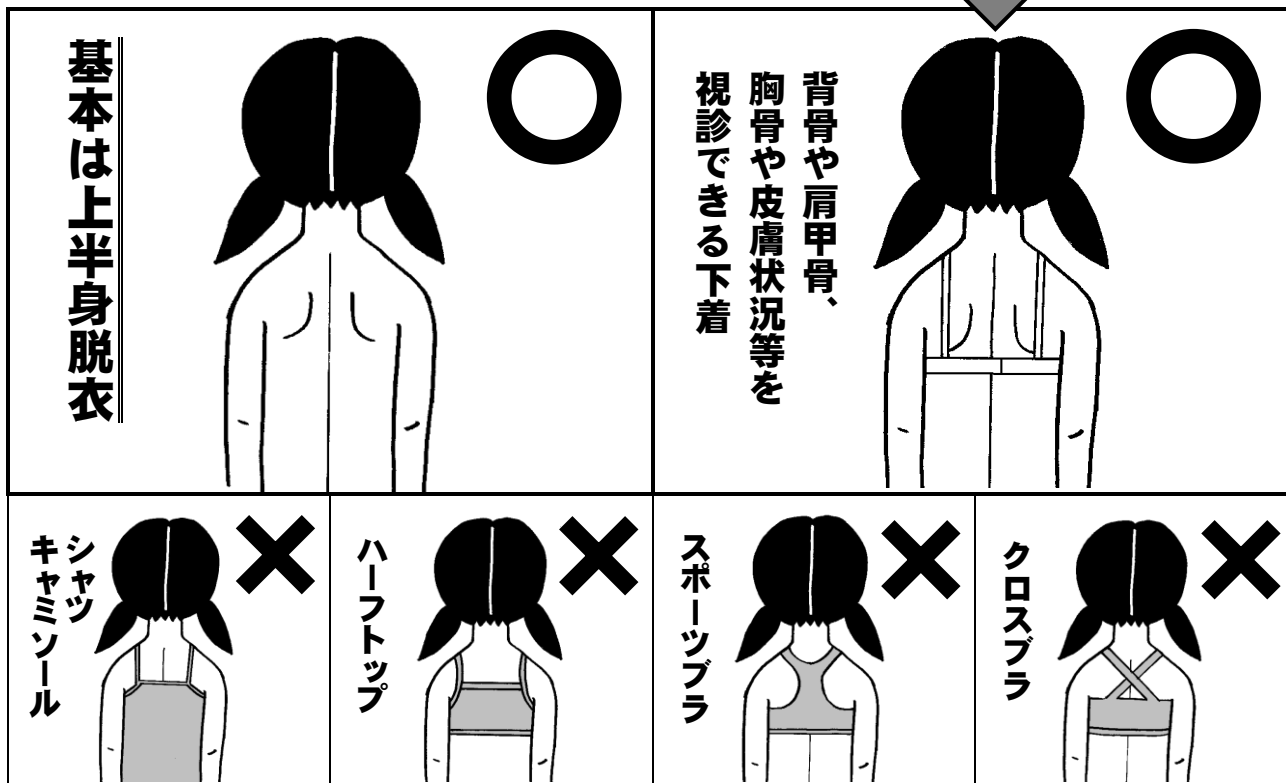


これら4項目を見落とさずにチェック
するためには、体操服を着たままや
スポーツブラなど肩甲骨が隠れるような
下着着用のままでは非常に難しいのです。

だから、ふくをぬぐんだね…



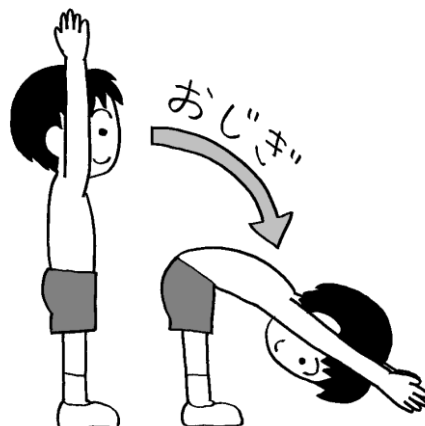
**※伊丹市の内科健診は、原則上半身脱衣での実施としますが、
下着の着用を希望する場合は「健診に支障が無い範囲の下着」に
限り、着用が許可されます。**



内科健診ではこのように脊柱側弯症のチェックをします

①後ろを向いて「気をつけ」をします

②両手を合わせて深くおじぎをします



※内科健診の場で見落としなくチェックするためです。ご理解・ご協力お願いします。